

なかがわ

広報

2009.9



No.48

- 子ども議会を開会 2
- 環境のまちづくりを目指して 6
- 町長選挙立候補予定者説明会等のお知らせ 8
- 認知症サポーター養成研修会の出前講座 9
- ホストファミリー募集中！ 10
- 医療・介護保険の高額負担の軽減 11



那珂川町子ども議会を開会

次代を担う子どもたちが自分の住む町の姿をよく見詰め、快適で住みよいまちをつくるために町に対して自分の夢や希望を発言してもらう機会をつくることにより、役場が行っている仕事への関心を深めるとともに、子どもたちの社会参加を推進することを目的に那珂川町教育委員会主催の那珂川町子ども議会が、8月19日に那珂川町議会議場で開催され、町内各小学校6年生の男女16名が議員として出席し、町議会議員や保護者が傍聴する中、実際の町議会と同様の一般質問方式で町執行部に提言し、意見を求めました。

当日の一般質問及び答弁の抜粋は次のとおりです。



地球温暖化を

防止するために



藤田歩実議員
(小川小)

【質問】地球温暖化防止のために私たちが今後しなければならぬことは何ですか？また、町として取り組んでいることはありますか？

【答弁】(町長)町では、まちづくりの3大重点プロジェクトの一つに「自然・環境との共生推進プロジェクト」を設定し、自然・環境と共生するまちづくりを目指していま

す。昨年度「環境基本計画」を策定し、ごみの減量化や資源化、太陽光発電による自然エネルギーの活用など二酸化炭素の削減に効率的な取り組みを考えています。環境や地球温暖化に関して、一人ひとりが関心を持つことが一番大切で、自分にできることは何にでも取り組み、その積み重ねが温暖化防止につながると思っていますので、町民の皆さんのご参加やご協力をお願いします。

芝生のグラウンドが

あつたら



島田瑛大議員
(馬頭小)

【質問】那珂川町には芝生でサッカーができるグラウンドがありません。楽しくて安全な芝生のグラウンドでスポーツを思いっきり楽しみたいです。

【答弁】(教育長)町では現在、学校の耐震化工事を優先して実施しています。将来的には、町の社会体育施設整備管理計画の策定時に頂いたご意見を参考に芝生のグラウンド整備を行いたいと思います。しばらくの間は、小川地内の

篇川沿いにあるまほろばキャンプ場南側の芝生グラウンドを活用していただきたいと思えます。

きれいで安全な

施設について



小泉里奈議員
(馬頭小)

【質問】馬頭公園などの施設の中や周りをいつもきれいにするためにごみの日をついたり、ボランティア活動を呼びかけたりしてほしいです。また、遊具などを点検し、きれいで安全な施設にしてほしいです。

【答弁】(町長)町のさまざまな施設を町民の皆さんが気持ちよく利用できるよう、地域の人々のご協力をいただきながら、町としても定期的に清掃を行い、適切な管理に努めています。馬頭公園については週一回の施設の清掃、年4回の芝や植木の手入れ、遊具の点検をしています。また、馬頭公園の美化運動に際し、馬頭中学校の多くの生徒に参加してもらっています。現在、3カ年計画で馬頭公園の整備を行っており、混み

あった木の伐採や歩道の舗装工事を実施し、きれいで安心して遊べる公園になるよう努めていきます。皆さんも、公園美化ボランティア活動を行うなど、多くの人たちの手による公園管理ができるよう、ご協力をお願いします。

犯罪防止・事故防止のための街灯増設について



佐藤奈々海議員
(大内小)

【質問】私たちの学校は、来年3校が統合して学区が広がり、家に帰るのが遅くなり、暗い夜道を歩く児童が多くなると考えられます。犯罪や交通事故を防ぐため、子どもからお年寄りまで、だれもが安心して安全に生活できるように、ぜひ、街灯を増やしてくださるよう提案します。

【答弁】(町長)現在、町では約千三百箇所に防犯灯を設置しています。毎年、行政区長さんなどから設置申請を頂いて、防犯灯の設置基準に照らして、危険な場所から順に設置していますが、まだ、十分とはいえません。今後もPTAの皆さんや行政区長さん

と協議しながら、必要な場所への設置を進め、安全・安心な町づくりに努めます。

豊かな自然とともに暮らす町にするために



鈴木康太議員
(谷川小)

【質問】 都会の人向けに、土地や別荘を売り出し、この町に定住してもらい、あわせて農業の仕事に就いてもらうようにできないでしょうか。花粉症対策としても、また、町営住宅や別荘の材料として使用できるように山の杉の木を伐採する林業の仕事に力を入れてもらいたいです。

【答弁】 (町長) 町では農業体験事業を実施し、今年は約70名の参加者が米や大豆、そばなどを作っております。そのほか、和見と小川に交流農園を設置し、交流活動を実施しています。

また、町外者の定住促進化のため、大山下郷高土地内にある町有地を無償貸与する事業には、埼玉県などから5世帯の方が入居する予定となっております。

【答弁】 (町長) 町では、

山林が荒れるのを防ぎ、地元産材を活用するため、保育所などの公共施設には積極的に地元産材を利用し、また、地元産材を使う住宅の建設には支援を行うなど利用拡大に努めています。また、最近では地球温暖化防止の観点から、CO2を吸収源としての植林やその際に花粉症対策として、伐採した杉の木の跡に広葉樹を植えることが多くなっています。町としてもこの点を踏まえて林業振興に努力していきたいと考えています。

花の名所で那珂川町の地域をつなげていこう



小林可奈議員
(谷川小)

【質問】 町内各地域の花を定めて、地域の花として育て、地域の人の心を花でつなぐとともに、那珂川町を花の名所でつないでいくことを提案します。

【答弁】 (町長) 今、町では「協働のまちづくり」を推進しています。地域の皆さんが花を育て、地域の皆さんの心がつながるといふ考えは、今、町で推進している「協働のま

ちづくり」の考え方と同じものであります。花の名所にするには、時間を要すると思いますが、まず一人ひとりが地域の行事に積極的に参加していただくことが大切であると考えています。このような取り組みに対しては、町も積極的に応援したいと考えています。

武茂川の自然を活かし、子どもも大人も楽しく安全に遊べ、我慢できる川がある町づくり



新井永遠議員
(大山田小)

【質問】 町全体で川を今よりきれいにし、安全に遊べるような川を作る「那珂川づくり」の運動をしてはどうでしょうか。武茂川や那珂川の自然を活かし、子どもも大人も楽しく安全に遊べる川がある町づくりとして取り組んでほしいと思います。

【答弁】 (町長) 町では、地域の皆さんのご協力を頂きながら、河川清掃を実施し、環境美化に取り組んでいます。また、下水道や合併処理浄化槽の整備を行い、生活雑排

水の浄化を図っています。さらに、安全な川づくりにも取り組みんでおり、水生動植物の植生に配慮しつつ、増水による災害防止のための河川整備をしています。

今回、ご提案を頂いた「那珂川づくり」運動を皆さん自身で考え、周りの人と協力して活動して頂ければ、素晴らしい運動として輪が広がることを期待しております。

「奈良の大仏と水戸黄門ゆかりの那珂川町」として歴史を活かした町づくり



益子久美議員
(大山田小)

【質問】 奈良の大仏に塗る金箔が健武山神社周辺で採掘されたり、水戸黄門様が9回も訪れ、日本初の発掘調査の際に那珂川町の人が協力したなど、このような歴史がある那珂川町を誇りをもって紹介できるような町づくりを提案します。

【答弁】 (教育長) 町では、毎年発掘調査を行い、史跡の保護活用のため史跡公園の整備を積極的に進めています。また、なす風土記の丘資料

館や馬頭郷土資料館を通じ、文化財の重要性について広く普及活動を行っています。本年3月に作成した那珂川町文化財マップや町広報紙「シリーズ那珂川町の民話」を活用したPR活動推進し、歴史ある那珂川町を誇りと思えるような町づくりを、皆さんの協力を頂きながら、町として積極的に実施していきたいと考えております。

那珂川を利用した町づくり



長山瑞季議員
(馬頭西小)

【質問】 ぼくたちの町名の「那珂川」をシンボルとした町づくりとして、河川敷に小さな子どもからお年寄りまで安心して遊べる公園や運動場を整備してもらいたいです。きれいに整備された河川敷を見て、橋を通った他県の人から立ち寄ってくれば活性化にもなるし、また、きれいな河川敷のために月1回ゴミ拾いの日や、町民全員でゴミ拾いをしてはどうでしょうか。

【答弁】 (町長) ゴミ拾いについてですが、毎年春に町民

が一丸となって、環境美化運動を実施しています。また、地域ごとに道路・河川愛護作業を行い、「ゴミ拾い」を行っています。この夏、当町で開催された東日本鮎釣り大会では、参加者からゴミの無いきれいな那珂川であると褒めの言葉をいただきました。今後とも、きれいな川を守っていかねければならないと考えています。

また、小川総合福祉センターの東側には堤防を利用した遊歩道や東屋、多くの人が集まれる河川公園が整備され、夏祭り、鮎釣り大会などのイベントに利用されています。皆さんもこの素晴らしい河川公園を利用して、地域の皆さんが環境の美化に関心を持ち、その活動に楽しく参加できるような取り組みをしていただけるようご協力をお願いいたします。



岡 佐和議員
(馬頭西小)

町づくりについて

【質問】今後少子高齢化がますます進む時代になるので、

高齢者が健康でいるためにラジオ体操や健康体操による健康づくりを実施してはどうでしょうか。参加した人にはポイント券を出し、貯まったらお買い物券と交換。集まりに参加する機会が増えると認知症の予防になると思います。

【答弁】(町長)町では、子どもからお年寄りまで、誰もが心も体も健康で、「いきいきと暮らせる町」を目指して、少子高齢化対策や健康づくりに取り組んでいます。

当町の老人クラブには2千人近くの方が加入して活動していますし、「おたっしや会」や「転ばん教室」など、いつまでも元気でいるための運動を各地で実施していますので、健康なお年寄りが多く、保険料は県下で一番安くなっています。

ご提案のあったラジオ体操や健康体操は、高齢者だけでなく、誰もが無理なく参加できるものですので、ボランティアなどの多くの方の協力を得ながら、各地域・職場、グループなどでこうした運動の機会が持てるように考えていきたいと思えます。また、ポイント券については、いろいろな団体と話し合っていきたいと思えます。

将来に向けて、みんなで幸

せな生活が送れるよう力を合わせていける那珂川町にしたいと思えます。

スポーツを通じて町全体が健康な町づくりをするために



田所拓朗議員
(小川小)

【質問】スポーツを通じて子どもからお年寄りまで健康でいられるような町づくりを目指し、大きな運動場や体育館、安心して遊べる大きな公園、ゲートボールやグラウンドゴルフができる施設、遊歩道の整備など健康のためにみんなが明るく、楽しく、集まれるような場所を作って欲しいです。

【答弁】(教育長)町では、現在、体育協会や体育指導員が中心となって、いろいろな競技を取り入れた総合型地域スポーツクラブを平成22年度に設立するための準備を進めていますので、ぜひ、皆さんからの意見を生涯学習課までお寄せください。また、町の社会体育施設整備管理計画を作る時には、今回のご提案を参考にして、みんなが明るく、楽しく、集まれる場所の整備

をしていきたいと思えます。

那珂川町の文化財保護・整備活動について



穴山甲斐議員
(薬利小)

【質問】那珂川町は、歴史のある町で数多くの史跡ありますが、中には町民にも知られておらず、管理されていない史跡も見受けられます。

町として、この貴重な文化財を未来に残し、町民に知ってもらうために、どのような活動を行っていますか。

【答弁】(教育長)町では豊かな自然と文化にはぐくまれ、やさしさと活力に満ちたまちづくりを基本テーマとし、那珂川町を代表する文化財の調査、保護、普及活動を積極的に実施しています。

本年3月に出来上がった文化財マップの活用、なす風土記の丘資料館や馬頭郷土資料館の各種事業やボランティアスタッフの協力により、町民の皆さんにも魅力あふれる文化財の保護、普及事業が展開できるようにしたいと思っています。

また、歴史を学ぶことを通

して、自分の住む地域への愛着を深めるとともに、町民の皆さんが、那珂川町が誇れる場所であることをアピールして下さることを期待します。

薬利小のこれから、福祉やごみ問題について



小室茅帆美議員
(薬利小)

【質問】薬利小は、児童数が減って学校がなくなるかも知れません。そうなる小川小へ行くことになると思いますが、距離が遠くなり通うのが大変になります。学校を無くさないで欲しいと思います。薬利小のこれからをどう思いますか。

お年寄りや体が不自由な方のために自宅を回って食べ物や服などを買い物したりするサービスを提供できないでしょうか。

私の住んでいる地区にゴミがたくさん捨てられています。片付けても、その後にまた捨てられないようにするには、どうしたらよいでしょうか。

【答弁】(教育長)薬利小は現在、一部複式学級となっており、先生は2学年の指導

を同時に行えないため、授業と自習を交互に行い、児童の皆さんは十分な指導を受けられない場合があります。

【答弁】(町長) 町では、児童の皆さんが町内すべての学校で均しい環境で勉強できるようにするために最低1学年1学級となるような学校規模を目標としています。そのためには薬利小の統廃合も行っていかなければならぬと考えています。

統合を進めていく場合には、地域の皆さんの意見を聞いてから、皆さんに安心して学校生活を送っていただくために遠距離通学の問題や環境変化による不安などを解決しながら進めていきたいと思っています。

【答弁】(町長) 現在、ヘルパーを利用していらっしゃる方や体の不自由な方は約180名います。食べ物や服などの買い物については、ケーブルテレビなどのインターネット機能を利用して、自宅にいなから買い物できるようなサービスも考えられますので、お店の方々と相談していきたいと思います。また、町で行っているサービスと合わせて地域に住んでいる皆さんが、優しい気持ちで支えあって、誰もが安心して生活できるように那珂川町にしていきたいと

考えていますので、ご協力をお願いいたします。

【答弁】(町長) ごみを片付けてもまた捨てられるような場所は、町内何箇所もあり、町でも大変に頭が痛い問題です。町では、ごみ捨て禁止の看板の設置やごみ監視員の巡回など再発防止に努めていますが、依然として減らないのが現状です。

この問題を解決するには、地域の方々の協力と子どもたちからごみに関する高い関心と正しい知識を身につけていただくことが、きれいなまちづくりには一番大事なことでないかと考えています。

那珂川町をPRする キャラクターを作ろう



議員 潤 時庭
(小川南小)

【質問】那珂川町にもっと観光客が来てくれればいいと思います。そのために、町をPRするキャラクターを作ったらいと思います。

【答弁】(町長) 町ではインターネット等を活用して、観光情報も含めた色々な情報を発信しています。

最近では「八溝ししまる」や「温泉トラフグ」や夕焼け温泉郷那珂川町」として全国的にPR活動を行っております。

町をPRする際、キャラクターは馴染みやすく、親しみやすいものが必要とされます。

来年、那珂川町は合併5周年を迎えますので、その記念事業として町をPRするキャラクターを作りたいと考えています。その際には町の小学生、町民の皆さんからたくさんのお声をお願いたします。

ペットボトルのキャラクター 資源ごみに



議員 莉子 山崎
(小川南小)

【質問】私の通っている小川南小学校では、ペットボトルのキャラクターを集めて世界の困っている子どもを助ける「エコキャラクター運動」をしています。800個集めると、子ども用ワクチンが1本買えます。

那珂川町でも、資源ごみとしてペットボトルのキャラクターを集めれば、もっとたくさん子どもたちが救えるようになると思います。

【答弁】(町長) ごみとして

捨てられるペットボトルのキャラクターを集め世界の困っている子どもを助ける「エコキャラクター運動」に取り組まれていることは、大変立派で素晴らしいことであると思います。

町にとりまして、ごみを減らしていくことに繋がりますし、ひいては、地球温暖化対策にもなります。他の学校や家庭・会社などにも取り組んでいただきながら町でも、町内に数箇所ペットボトルのキャラクター専用回収ボックスを設置し、町全体として取り組んでいきたいと思っています。

子どもが遊べる 場所について



議員 楓美 小口
(馬頭小)

【質問】馬頭の街中には、子どもたちが遊ぶのに適した施設がありません。総合体育館は部活動や試合があり、図書館は勉強している人がいるので静かにしなければいけません、公園は雨が降れば遊べません。

そこで毎日安全に楽しく過ごせ、図書館コーナーや屋内で運動のできるスペース、視

聴覚室、多目的ホール、外にはたくさん遊具がある総合的な児童館を街中に作って貰いたいと思います。

【答弁】(町長) 町では、安心して遊ぶことができる場所として、学校等の校庭、町民体育館の開放や、公園、すすきの森等が整備され、ほかにも福祉センターや美術館などのたくさん施設があります。

また、生涯学習課ではネイチャークラブ等、皆さんが楽しめる催しを実施しており、今後は、地域総合スポーツクラブの設立も計画しています。

皆さんには、那珂川町の自然や現在ある施設などを有効に利用しながら、友達や家族との楽しい遊びを工夫していただきたいと思っています。小川地区にある児童館においては、町内の各地域に向いて催しを実施するなど、より多くの遊びを皆さんに提供しております。

今後さらに、町の施設の有効利用を考えながら、安心して皆さんが遊べる場所をつくるように考えていきたいと思っています。



づくりを目指して

6月23日から8月11日のうちの19日間、地域の集会所や小学校の体育館などで「環境のまちづくり説明会」が開催され、町民390人が出席しました。

この説明会は、今年3月に策定された町環境基本計画を推進し、住民と事業所、行政が一体となった環境のまちづくりを展開しようと呼びかけられたものです。

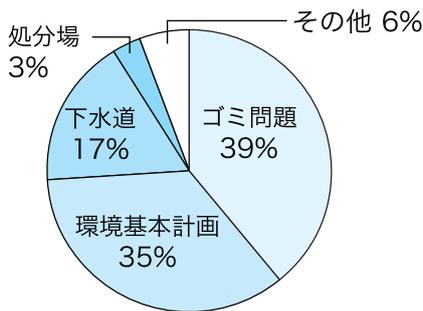
説明会は先ず、町が環境基本計画について説明しました。その後、身近なことから実践できるゴミの分別についてや生活排水処理の普及について説明し、意見交換が行われました。そこで町民の皆さまから出された主な意見・質問等について、その一部をご紹介します。



出席者の3/4が男性

19日間の出席者数の男女別内訳を見ると3/4が男性でした。中には女性の数が男性を上回った会場もあり、具体的なゴミの分別方法などの活発な意見が出されました。

意見・質問等の種類別内訳



ゴミ問題と環境基本計画に関する質問等が全体の3/4を占める

意見・質問等の種類別内訳を見ると、ゴミ問題が39%、環境基本計画に関するものが35%で、この2つをあわせると全体の3/4を占めるといふ結果になりました。

ゴミ問題に関する意見等

Q 生ゴミ処理機の補助制度はどのようになっていくのか。あまり知られていないので、もっと周知すべきだと思いが。

A 生ゴミ処理機の補助制度は現在、実施している。今後、広報等でPRに努めたい。

Q 集落の組に入っていない人のゴミ出しのマナーが悪いので、転入する時にゴミ出しのルールを徹底して話してほしい。

A 転入する方には窓口で資料の配布等徹底して行っているが、町の広報不足ということもあるので、広報紙やケーブルテレビ等で対応していきたい。

Q 燃えるゴミは現在、月曜と木曜の2日収集しているが、月曜日は祝日と重なってしま

う日が多く、困っている。月曜日が祝日の場合は、翌日収集してもらえないか。

A ここでは返答できないので、今後考え検討したい。

Q ゴミステーションがカラス等に荒らされている。カラス対策のネットや、きめの細かいものはいいか。

A ゴミステーションのふたが開閉できるようにしてあり、開いたままになって戻していない場合やネットをしっかりとつけていない場合があるので、その対応をしてもらえば被害は少ないと思う。ネットが足りないとか、破れていれば交換するので、住民生活課に連絡してほしい。

Q ゴミステーションが汚い。ゴミがちんと分別されていないのに収集してしまうと、多少分別していても持って行ってもらえないと思ってしまう。そういうことが浸透すると分別が無意味になってしまうので、その対策を考えているのか。

A 空き缶などがコンテナに入っておらず、農業用の肥料袋などに入れて出す人がいる。そうすると収集業者は収集しないので、ステーションが山

環境のまち



のようになってしまつた。これは大変難しい問題だ。回収するから悪いという考え方もあるが、道路の脇なのでそのような状態になっているとまた捨てられてしまう。地域の皆さんの監視の目が捨てる人への一番のプレッシャーになると思うが、通りに面してない少し奥まった所にゴミステーションを移動する方法もある。地域で話し合つて、場所を指定していただくよう検討をお願いしたい。

また、ゴミステーションを増設することもできる。

環境基本計画に関する意見等

Q 町の太陽光発電の補助制度はないのか。

A 検討している。ゴミの減量化などにより経費の削減ができれば、その一部を補助に充てることも可能になる。まずはゴミの減量化など身近に取り組めることから始めたい。なお、国や県の事業で対応できる事業があれば取り組みたい。

Q 環境基本計画には具体性がないが、環境を維持するには長い時間と莫大なお金がかかる。予算は1年でどれく

らいか、あるいは5年でどれくらいか。

A これから実行計画を作り、企画財政課と協議となるが、那珂川町は県内でも財政力が低いので、まずは身近な取り組みとしてゴミの減量を5%削減できれば約1千万円の経費削減となるので、それらを二酸化炭素削減に効果的な事業に取り組んでいければと考えている。

内容については今後、実行計画で明らかにしていきたい。

Q 農地の保全に関して、中山間直接払いが効果的だが来年3月までで打ち切りになると聞いている。ぜひ、継続してほしい。

A 中山間直接払いは計画では今年度までになっている。那珂川町では約500町歩の遊休農地があるが、中山間直接払いが遊休農地に有効だということ、県と連携して国に要望活動を行っているところである。

Q 農地の保全で今、国において農地・水・環境保全事業を実施していると思うが、こういった事業についてこれからも町は補助対象となるための見直しはあるのか。

A 農地・水・環境保全事業は国・県・町でお金を出し合つて、基本的には共同作業で、例えば草刈りや空き缶拾い等をする事業だが、現在那珂川町では8地区実施している。将来的にはこの事業を拡大していきたい。5カ年事業ということだが、国や県に継続を要望したい。

Q バイオマスプロジェクトとは具体的にどういうものか。

A 代表的なものは生ゴミの堆肥化だ。那珂川町を見てみると森林が64%で、バイオマスの材料になる。不用木を燃料化して発電したり、生ゴミの堆肥化や生ゴミを発酵させ、メタンガスを発生させ電気を作ったり、燃料などにもなる。今後、調査・研究を行い、那珂川町に適したものを展開していきたい。

Q ゴミの量の削減から野焼きをしている方が見受けられる。ゴミを減らす方法と野焼きをなくす啓発活動を徹底してほしい。

A 野焼きの啓発は住民生活課から正しいゴミの分別方法とあわせて広報やケーブルテレビ等で行っていききたい。

生活排水処理に関する意見等

Q 合併処理浄化槽を設置する場合、全体の工事費はどれくらいかかるのか。

A 家庭によってまちまちで、いくらかかるとは言えないが、業者に見積りを依頼して納得した上で契約し、依頼してほしい。

Q 合併処理浄化槽の補助金は、希望者が多いから補助金の対象にならないということはあるのか。

A 年間60基の補助金を予算化している。予算がなくなる場合には修正予算で対応するので、希望を満たす予算は確保できると思う。

Q 馬頭地区の公共下水道の普及率が悪いのは何が原因として考えられるか。

A 普及促進に歩くと、一番の理由は経費の問題だ。不景気でなかなか接続までいかないという状況なので、引き続き加入促進に努めたい。

Q 合併処理浄化槽の人槽を小さいものにできないか。

A 人槽の基準は日本工業規格によって定められている。家の坪数によって人槽が決まる。

那珂川の夜空に大輪咲く



第4回那珂川町夏まつりが8月15日、若鮎大橋上流の那珂川河川敷を主会場に開催されました。

午前11時から新那珂橋上流河川敷の特設会場で恒例の鮎とマスのかみどりが行われ、親子連れなど約650人が参加しました。参加者の皆さんは、始まりの合図とともに一斉に那珂川に入り、悪戦苦闘しながら鮎やマスを捕まえ、中にはウナギを捕まえている人もいました。

主会場では午後5時30分からのまほろば太鼓の演奏に続き、昨年結成された「夢っこ」によるyosakoi那珂川踊りが披露され、大勢の観客が魅了されました。

午後7時30分からは、祝砲とともにスターマインなど約3、500発の花火が約1時間に渡って次々と打ち上げられ、1万5千人の観客からは夏の夜空と那珂川の水面を彩る花火に大歓声が沸き起っていました。



平成21年分 年末調整説明会の開催

氏家税務署では、管内の源泉徴収義務者の方々を対象に平成21年分源泉所得税の年末調整説明会を下記の日程により開催します。

どちらの会場でも受講できますので、ご都合に合わせてご出席下さい。

平成21年分 年末調整説明会の日程表

開催月日	開催場所	開催時間
11月17日(火)	さくら市氏家公民館 (さくら市桜野1322-8)	午後2時 ～ 午後4時
11月18日(水)	矢板市文化会館 小ホール (矢板市本町5-4)	
11月19日(木)	那須烏山市烏山公民館2階 (那須烏山市中央2-13-8)	
11月20日(金)	馬頭総合福祉センター (那珂川町馬頭560-1)	

問い合わせ 氏家税務署 法人課税部門
☎028-682-6684

任期満了に伴う那珂川町長選挙 及び立候補予定者説明会等のお知らせ

○那珂川町長選挙

投票日 平成21年11月1日(日)
午前7時～午後8時
告示日 平成21年10月27日(火)

○立候補予定者説明会

期日 平成21年10月1日(木)
午前10時～12時
場所 那珂川町役場 2階会議室

○立候補者届出事前審査

期日 平成21年10月21日(水)
午前9時～12時
場所 那珂川町役場 2階会議室

詳しくは、那珂川町選挙管理委員会までお問い合わせ下さい。

那珂川町選挙管理委員会 ☎0287-92-1111



昔々、小砂高倉山の中腹に、里人たちの信仰を集めていたお寺があり、その眺めは幾重にも連なる山の峰々であった。

ある日、その周辺の山から突然火災がおき、火の勢いは激しく燃え広がるばかり。里人たちは驚き、若者からお年寄りまで集まって、懸命に消火に努めたが及ばず、火の勢いは増すばかりで、お寺も危うくなつたが、里人たちには成すすべもなく、お寺に向かつて手を合わせ、ひたすら祈るばかりであった。

その様な時、一陣の風がおり、ざわめきと共に周囲は薄暗くなつた。里人たちは何事が起きたかと、一斉に空を見上げた。里人たちの目に映つたのは、空を覆う何万羽もの小鳥の大群。なぜ？と思うのも束の間。小鳥たちは、一斉にお寺の上を飛び回って、一様に小さな羽を一生懸命に羽ばたいて、お寺を火災から守ろうとしていた。そして、熱さに耐えられなくなった小鳥たちは、麓を流れる小口川の石の上に降り、羽を休め、か

わるがる飛び立っては火を防ぎ、遂にお寺を火災から守り抜いた。

小鳥たちが、身を休めた川原の石には、たくさんの足跡が刻まれていたと言う。

里人たちは、この足跡の刻まれた石を「千鳥石」と呼ぶようになった。

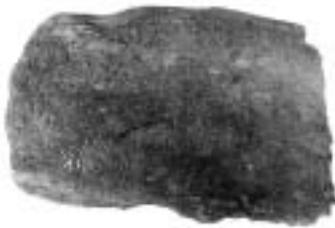
高倉山は、昔から里山の信仰の聖地でもあった。

洋の東西を問わず、鳥霊信仰があり、住民の生活信仰に鳥は深くかかわっていた。

千鳥石には、空想と信仰の世界をもたらず魅力がある。また、千鳥石は、除災招福をもたらず石として、遠方からの採石が盛んな時もあった。

文化財愛護会会員

堀江孝四郎



千鳥石に刻まれた足跡

職場、自治会、趣味サークル、友達、ご近所さん等で利用してみませんか？

認知症サポーター養成研修会の出前講座

いつでもどこでも専門の講師を派遣します！

もの忘れがひどい・・意欲がなくなる・・もしかして認知症？
家族や知人、あるいは自分自身のことでも心配をしている方が多いと思います。
那珂川町では「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」をめざし、
認知症サポーター養成研修会の出前講座を行っています。（料金無料／平成22年3月まで）



どなたでも参加できる講座です

テキスト等の教材はこちらで用意します。60～90分の講座で認知症の正しい知識や予防法、認知症の方へのサポートなどを分かりやすく説明します。また、受講生全員に認知症サポーターの証として「オレンジリング」を差し上げます。

お申し込みはお電話で！ 日程と場所をご相談ください

- ☆日程 平日・土・日・祝日を含め実施可能です。準備の都合上、開催予定日1ヶ月前までにお申し込みください。
- ☆場所 那珂川町内ならどこでも開催できます。
公民館など、町の施設でも利用できますのでご相談ください。
- ☆人数 なるべく10人以上ご参加くださるようご配慮願います。
- ☆申し込み・問い合わせ 那珂川町地域包括支援センター 電話 0287-96-2161





つらい、うまくいかない、苦しい、もやもやする...など心のトラブルをそのままにしていますか？

「心の傷」は誰からも見えません。こんなに苦しいのに誰にも自分の気持ちをわかってもらえないというのは、とてもつらいものです。

体の具合が悪くなった時に病院に行くように、心も適切なケアが必要なのです。

カウンセリングとは



専門心理カウンセラーに悩みを話し、疲れた心をほぐして、人間的な成長をお手伝いしてもらうことなのです。

カウンセリングは、いわゆる「人生相談・身の上相談」とは異なります。相談者自身に焦点をあて、自分を見つめ直し、自分が大切にしていることを発見し、その人らしく生き生きと生活できるようにすることをサポートしてもらう

ことなのです。

なぜカウンセリングが必要なのか？



人が生きていく上で、さまざまな場面で悩み、直面し、

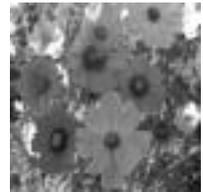
生きていく意味を考えたり、それを克服しようとする中で自分を成長させることができるのですが、誰にも言えずに一人で抱え込んでしまったり、心が疲れてしまったときは、悩みで自分が押しつぶされ「うつ状態」に陥ってしまうことが少なくありません。

安心できる場所で、専門家に心の奥深いところまでオープンにできることが、問題解決へ向けてスタートしていることになるのです。自分のためにカウンセリングを利用することは、変化の激しい現代社会に生きる私たちの知恵がもれませんね。

心の安らぎと限りない人生の可能性を見つけられること

でしょう。

まずは相談を



町では、月1回、心の専門医をお願ひして相談を受け

ています。

心の病や障がいに関する悩み

・憂うつな気分が続く

・人に会いたくない、ひきこもりがち、無気力

・眠れない、食欲がない

・家庭・学校・職場の悩みやストレス

・死にたい、いなくなりたいと考えるしまう

・書があるのと認められない、これではいけないと思っていてもやめられないなど

このような時に、一人で悩まずにご相談ください。必要に応じて専門カウンセラーをご紹介します。

【相談窓口】健康福祉課

☎ 92・1119

「心の相談係」まで



町営住宅の入居者を募集します

住宅名	部屋番号	住所	建設年度	間取り	入居時家賃(円)
松ヶ丘	3-1	馬頭2558	昭和47年	2LDK	8,600~13,900
	4-2		昭和47年		8,600~13,900
	6-1		昭和48年		8,800~14,600
	7-2		昭和49年		10,500~15,900
古館	1-6	馬頭1307	昭和52年	3DK	9,900~22,800
	2-5		昭和57年		12,700~29,300
谷田	2-2	谷田178	昭和52年	3K	6,700~15,400
谷田上の原	3-4	谷田976	昭和56年	3DK	9,600~25,600

募集期間 9月16日(水)~30日(水)

入居期日 10月中旬以降

選考方法 入居資格(住宅困窮度、所得など)に応じて選考する。(同程度の場合は公開抽選)公開抽選日時は応募者に後日通知する。

その他 入居資格や設備、敷金などの詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ 建設課 管理係 ☎0287-92-1118

ホストファミリー募集中!

自分の茶の間で海外旅行をしてみませんか？

県内在住外国人(大学の留学生や学校の外国語指導者など)の方々が稲刈り体験のため3日間、那珂川町にやって来ます。日本の生活習慣に関心の高いこの方々に那珂川町の普段の生活を通し、町民の真心を紹介できる町内のホームステイ家庭を募集しています。

外国語が苦手な方、得意な方、上手になりたい方など、初めてのホストファミリーも大歓迎!お気軽にお申し込み下さい。

日程: 10月9日(金)夕方 ホームステイ開始
10日(土)午前 稲刈り体験・昼食会
午後 ホストファミリーと自由
11日(日)終日 ホストファミリーと自由

申込締切: 9月25日(金)までにご連絡下さい

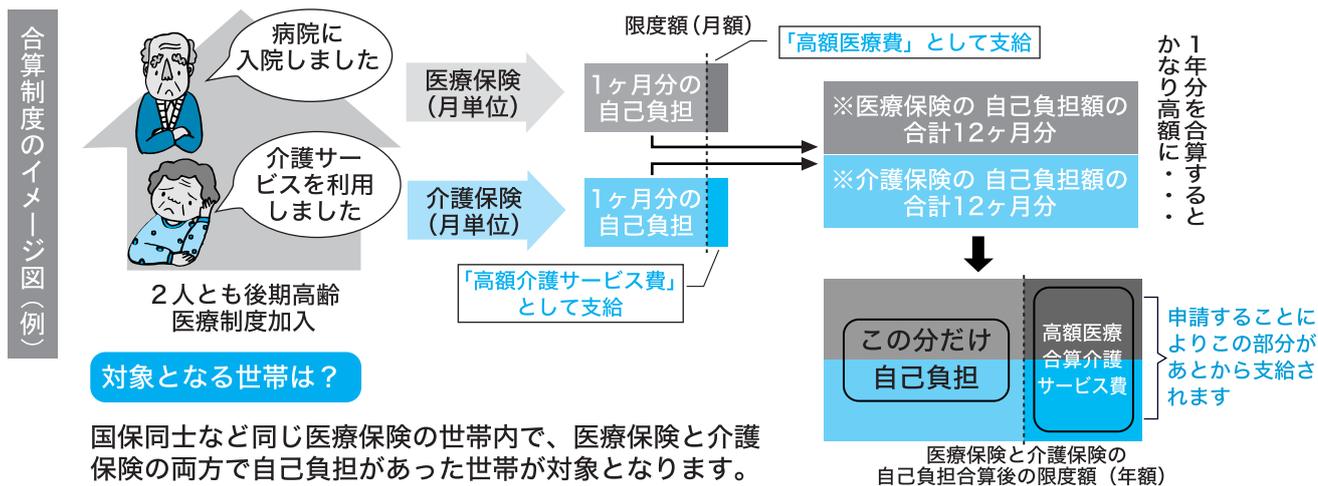
問い合わせ: 生涯学習課 0287-96-2116

医療と介護の両方のサービスを利用している世帯の負担を軽減する制度が始まりました

～対象となる可能性のある方には10月以降に関係書類が送付されます～

医療保険や介護保険では、利用者の負担が重くならないように、月ごとの負担に限度額が定められています。しかし、今年度さらにその負担を軽減するため、1年間の自己負担額の合計が、新たに定められた年間の限度額を超えている場合、超えた分が支給されることになりました。

対象・・・一世帯において、同じ医療保険に加入している方で（国民健康保険同士・後期高齢者医療制度同士等）医療保険と介護保険ともに自己負担があり、1年間（概ね前年8月～7月末の支払分）の自己負担合算額が別表の限度額を超えた方。



申請・・・支給対象となる可能性のある方には、10月以降に関係書類が送付されます。申請書に必要事項を記入・必要書類を添付の上、指定の窓口にご提出ください。

<別表> 高額医療・高額介護合算制度の限度額表（年間）

後期高齢者医療制度の被保険者、または70歳から74歳の方の場合

所得区分	後期高齢者医療制度の被保険者（75歳以上）	70歳から74歳の方
現役並み所得者 （住民税課税標準額145万円以上の方）	67万円 【89万円】	67万円 【89万円】
一般所得者 （住民税課税世帯の方）	56万円 【75万円】	56万円（平成22年8月からは62万円）【75万円】
低所得者 （住民税非課税世帯で低所得者以外）	31万円 【41万円】	31万円 【41万円】
低所得者 （世帯の各収入から必要経費・控除を差し、所得が0円の方〔例〕収入が年金80万円以下の場合など）	19万円 【25万円】	19万円 【25万円】

70歳未満の方の場合（後期高齢者医療制度の被保険者を除く）

所得区分	70歳未満の方
上位所得者（基礎控除後の世帯の合計所得が600万円を超える方）	126万円 【168万円】
一般所得者（住民税課税世帯の方）	67万円 【89万円】
低所得者（住民税非課税世帯の方）	34万円 【45万円】

今年度のみ計算期間を「平成20年4月から平成21年7月末までの16か月間」とし、原則【 】内の限度額を用います。

〔問い合わせ先〕

町の医療保険（国民健康保険・後期高齢者医療）に関すること.....住民生活課 ☎0287 - 92 - 1112
町の介護保険に関すること.....健康福祉課 ☎0287 - 92 - 1119



■アイドリングストップをしましょう

アイドリングストップとは、停車時にエンジンを切ることで、市街地走行では、運転している時間の半分近くが信号待ちなどで停止している時間です。郊外を走行している時でも信号待ちでの停止時間はかなりの比率ですから、こまめにアイドリングストップを実施すれば大きな効果が得られます。

年間CO₂削減効果 40・2kg
杉の木 2・9本分

■「ふんわりアクセル」スタートをしましょう

普通の発進より少し緩やかに発進する（最初の5秒で時速20kmが目安です）「ふんわりアクセルスタート」だけで11%程度燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕をもって、ゆったりした気分で運転しましょう。

年間CO₂削減効果 194kg
杉の木 14本分

■加減速の少ない運転をしましょう

車間距離に余裕をもつことが大切です。車間距離を詰めたり、速度にムラがある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費（km/L）が悪化します。また、同じ速度であれば高めのギアで走行する方が燃費がよくなります。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。

年間CO₂削減効果 68kg
杉の木 5本分

（財）省エネルギーセンター「家庭の省エネ大事典」より引用

不法投棄現場周辺の水質分析結果

（平成21年度経年変動調査分）

小口字北沢地区不法投棄現場周辺の水質分析結果をお知らせします。

調査項目 健康項目、生活環境項目、その他

採水日 平成21年6月15日（月）

- 採水場所 1. 周辺環境水
①投棄地直下河川
②農業用水
③小口川上流

2. 投棄現場浸出水
①投棄地下流側観測井
②投棄地内観測井

3. 周辺人家井戸水
①人家井戸水2カ所

調査結果 すべての地点で環境基準以下
⇒周辺への汚染拡大の兆候は認められない。

問い合わせ 馬頭処分場整備室那珂川分室
☎0287-92-1411
環境総合推進室 ☎0287-92-1110

9月10日～16日は自殺予防週間です

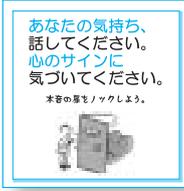
ストップ自殺！

追い詰められている人は自らの苦しさを「死にたい」など自殺願望の表現や別れの準備、態度の変化、自傷行為など、周囲の人に言葉や行動でサインを発しています。死にたいと考えている人も、心の中では「生きたい」という気持ちとの間で激しく揺れ動いています。

はぐらかしたり、励ましたりすることなく話を聞いてあげてください。

秋のうつ予防

- ◆少しずつ日が短くなり、寒さも感じてくる秋は、気分が滅入るなど、こころの調子を崩しがちです。
- ◆うつ病の中には睡眠障害や頭や胃が痛いなどの体の不調だけが目立った症状としてあらわれることがあります。また、眠れないために飲酒量が増える場合があります。
- ◆気分の落ち込み、不眠、飲酒量の増加等はこころの病気のサインかもしれません。サインを早めにキャッチし、相談や受診によりうつ病や自殺を予防しましょう。



うつ病かも・・・自殺が心配・・・と思ったら

こころの健康相談

栃木県烏山健康福祉センターでは、こころのご相談をお受けしています。お気軽にご利用ください。

- ◆専門医による相談（予約制）
毎月第2水曜日の午後
*事前にご連絡ください。
- ◆保健師による相談

随時お受けしています。

場所：栃木県南那須庁舎1階（神長トンネル東側）
電話：0287-82-2231



道路改良工事に伴う交通規制のお知らせ

町道大山田立野線の上記区間内を平成21年8月17日から平成22年1月26日までの工事期間中、午前8時30分から午後5時まで、全面通行止めといたしますのでご協力をお願いいたします。

なお、工事の進捗状況等により、交通規制の内容を変更する場合があります。

問い合わせ 建設課 ☎0287-92-1118

俳句

駒駆け那須野が原や雲の峰
 百合の香にまみれリフトを降りにけり
 船べりに魚寄りくる船下り
 街極暑しかめつ面の鬼瓦
 耀歌の山まぶし梅雨雲むくと脱ぎ
 連結の赤き貨車過ぐ極暑かな

馬頭 藤田 芳輝
 松野 大高 富美
 小川 鈴木 君枝
 小川 小川のぶ子
 和泉すみを
 谷田 荒井 大作

短歌

南海の島々駆けて日食のダイヤモンドリングにはしゃぐ子どもら
 幾度も灰汁を流して小豆煮るひたひた盆の近づき来れば
 夏木立茂れる沢の野仏にとどかぬ願ひと知りつつ祈る
 古手紙古き文書を焚く焔包む宵闇いつしか涼し
 高莖の頂に咲き向日葵の得しとて空へ黄色発散す
 妻の背の丸味の目立つ昼下りお茶を入れたり肩を揉んだり

馬頭 五月女トミノ
 馬頭 西宮 定子
 和見 小高 歌子
 小川 古澤 實
 小川 郡司 喜恵
 小川 佐藤佳久子

先月号の短歌に脱字がありました。正しくは次のとおりです。
 謹んでお詫びの上、訂正いたします。
 初生りの南瓜を挽げば切り口に吸い上げし水滴り匂う

盛泉 岡 イチ工

川柳

ほっとしたとたんに次の悩みごと
 言いたげな遺影手向ける鎮魂歌
 主張する権利の裏にある責務
 最後には祈ることしかない患者
 今のエゴ昔やってた事ばかり
 支え合う苦労夫婦にある絆

谷田 岡崎 甫子
 大内 郡司 正幸
 小川 平澤 照雄
 小田 岡崎 友子
 小砂 笹沼 季子



『文化祭オクロック』

竹内 真／著 (東京創元社)



高校の文化祭当日、突如校内放送から謎の男の声が流れてきた。DJネガボジと名乗るその男は、文化祭を盛り上げるための企画を次々と提案していくが、どこか怪しい。華やかな文化祭の裏で静かに進行する陰謀と謎のDJの目的とは？文化祭当日のエネルギーをたっぷり詰め込んだ、青春ミステリーの決定版。

『ナガサキ消えたもう一つの原爆ドーム』

高瀬 毅／著 (平凡社)



被爆体験を伝える遺構と聞いて、多くの人が、「原爆ドーム」と答えることでしょうか。では、広島と同じく原爆都市である長崎には、何も残らなかったのでしょうか。長崎には、原爆によって破壊された浦上天主堂が残されていました。戦後十三年目に、多くの反対を受けながらも取り壊されてしまいました。そこにはどんな背景があったのでしょうか。長崎原爆の真実に迫るノンフィクション。

『惣一じいちゃんの知っているかい？農業のいじり』

山下惣一／著 (家の光協会)



イチゴは野菜か、それとも果物か？カボチャの名前の由来は？田んぼと畑の違いは？今、それらのことが分からない子どもや、答えることが出来ない親が増えています。しかし、生きるためには「食へ物」が必要です。その「食へ物」を作っている農業について学ぶことは、命のつながりを知ることにもなります。

この本で、農業や食へ物について学んでみませんか。

- ◇ 『悪党』 葉丸 岳／著 (角川書店)
- ◇ 『あの子の考えることは変』 本谷有希子／著 (講談社)
- ◇ 『静子の日常』 井上荒野／著 (中央公論新社)
- ◇ 『線路と川と母のまじわるころ』 小野正嗣／著 (朝日新聞出版)
- ◇ 『ころころ』 島中 恵／著 (新潮社)
- ◇ 『ドント・ストップ・ザ・ダンス』 柴田よしき／著 (実業之日本社)
- ◇ 『武士道エイトーン』 菅田哲也／著 (文芸春秋)
- ◇ 『終の住処』 磯崎憲一郎／著 (新潮社)
- ◇ 『落語論』 堀井憲一郎／著 (講談社)
- ◇ 『かいけつゾロリきょうふのちょうとつきゅつ』 原 ゆたか／著 (ポプラ社)

関東大会出場選手を
町長室で激励

町長室で激励

中学校体育大会栃木県大会を突破し、馬頭中3年の山内楓磨くんが水泳競技の400mと1500m自由形で、また、小川中3年の豊田真望子さんと川上愛可さんが卓球の女子シングルスでそれぞれ関東大会出場を決め、8月6日に町長室で、その健闘を期待し、激励金を交付しました。

川崎和郎町長からは「厳しい練習で培った成果を関東大会で発揮して下さい」とあいさつがありました。

山内くんは練習で毎日5km泳ぐそう、昨年は1000mと2000mの背泳ぎで関東大会に出場しました。

また、豊田さんと川上さんは今年9月開催の全日本クラブ卓球選手権大会全国大会にも出場します。



学官連携始動！
那珂川町のPRビデオを製作

8月6日、宇都宮メディア・アイツ専門学校の学生が来町し、学官連携の第一段として、町PRビデオの撮影を実施しました。

学生の皆さんは2班編成で道の駅ばとうと藤田製陶所、いわむらかずお絵本の丘美術館をそれぞれ撮影しました。

道の駅ばとうでは、名物「いのしし丼」を紹介、リポーター役の学生は、「意外に美味しいです」とコメント、先生の指導のもと、カメラや音声担当の学生は一生懸命に機材を操作していました。

撮影予定時刻を大幅に過ぎて、学生の皆さんは、納得の行く映像が撮れるまで、真剣な表情で何度も撮り直しをしていました。

馬頭西小PTA
親子陶芸教室を開催

親子陶芸教室を開催

郷土の伝統文化に関心を深め、製作することの喜びと親子の触れ合いを通じ、学校と家庭の結びつきを深めることを目的に親子陶芸教室が8月7日と9日に渡って地元の小砂焼体験センター陶遊館で開催され、馬頭西小学校の全児童とその保護者が参加し、親子で楽しい夏の思い出を作っていました。

皿や花瓶、置き物など、思い思いに作られた作品は、この後、素焼き・本焼きを経て完成、11月に開催される学校祭の「たかがけフェスタ」で展示されるそう、子どもたちは、今から出来上がりを楽しみめています。



那珂川で
鮎釣り選手権大会を開催

シマノ・ジャパンカップ鮎釣り選手権大会セミアイナル東日本大会が8月8日、那珂川の新那珂橋上流で行われ、地方大会を勝ち残った61名の選手が出場しました。

当日は、前日までの雨の影響による増水と濁りや競技時間の短縮など悪条件が重なりましたが、選手の間は物ともせず、たくさんの釣果を上げていました。

競技結果は、小澤剛さん（愛知県）が昨年に続き優勝し、川崎和郎町長から特産いのしし肉「八溝ししまる」が贈られました。

また、釣った鮎544匹は町内の社会福祉施設にそれぞれ寄贈されました。



栃木ブルックスが やって来た!

8月13日、プロバスケットボールのリンク栃木ブルックスのコーチと選手による技術指導とトップチームによる公開練習が行われました。

栃木銀行主催によるブルックスの地域貢献活動の一環として開催されているもので、会場となった馬頭総合体育館には、南那須・塩谷地区のチームから84人の子どもたちが集まり、プロの選手が行うものと同じ練習を行い、動きの基本となる技術を教えてもらいました。

子どもたちは、プロの選手に指導を受けるめったにない機会を楽しみつつ、練習には真剣に取り組んでいました。



子ども会 レクレーション大会

子ども会相互の親睦と心身の健全育成を図るため、子ども会育成会などの主催による第4回子ども会レクレーション大会が8月22日、小川体育館及び小川中学校体育館で開催されました。

当日は、天候不良により小学生を対象としたスパーキックベースボールが昨年に引き続き中止となりましたが、ソフトバレーなど3種目31チームが熱戦を繰り広げました。

大会結果は次のとおりです。

- ソフトバレーボール(全15チーム)
- 優勝 2区A/準優勝 1区B
- インディアカ(全4チーム)
- 優勝 4区A/準優勝 13区
- 3on3バスケットボール(全12チーム)
- 優勝 1区A/準優勝 2区B

馬頭小川ロータリークラブ 交換留学生のサムさんが来町

アメリカ合衆国ミネソタ州北部にあるノースフィールド市から当町へ馬頭小川ロータリー交換学生として Samuel Richard Estenson さん(サム)が来町しました。サムさんは既にアメリカの高等学校を卒業しています。馬頭高等学校の水産科の2年生に編入するそうで、早速、26日に初登校し、2学期の始業式で全校生の前で日本語で挨拶した後、みんなから歓迎を受けました。

サムさんは、来年の6月まで馬頭小川ロータリークラブ会員宅にホームステイし、家族の一員として日本の生活習慣を体験します。「自分の国とは違う、これからの人生で関わり続けられるような、文化や社会を知っていきながら過ごしたいです」とサムさんは述べてくれました。



全国小学生陸上競技大会に 中森さん・高橋くんが出場



第25回全国小学生陸上競技交流大会栃木県予選会の走り高跳びで高橋和希くん(小川南小6年)と女子ソフトボール投げで中森海優さん(馬頭小6年)がそれぞれ優勝し、横浜日産スタジアムで行われる全国大会に出場を決め、8月26日に町長室で健闘を期待し、激励金が交付されました。

出場14種目中、2種目で当町の小学生が代表に選ばれる快挙で、しかも、高橋くんは7年ぶり更新となる県大会新記録での優勝でした。

ふたりは、「6年生の思い出として楽しく跳んでいきたいです」また、「全国大会で悔いの残らないよう頑張ります」と元気に語ってくれました。

第28回ゆりがねマラソン大会 参加者募集

期日 11月15日(日) 荒天中止
 コース 山村開発センター～健武地区周回コース(2km・3.5km・5km・10km)
 参加資格 健康診断等により、身体に異常のない者で、完走できる者
 参加費 一般(高校生以上) 1,000円
 小中学生 500円
 親 子 1,500円
 申込方法 所定の申込み用紙に必要事項を記入し、参加料を添えて郵便振込にて申し込み下さい。
 申込締切 10月20日(火)必着
 問い合わせ 生涯学習課(大会事務局) ☎0287-96-2116

那須南病院の 整形外科外来診療について

那須南病院では、整形外科診療について常勤医師1名での業務量を超え、入院診療・手術に影響を及ぼすようになってきたため、下記のとおり、外来診療について予定人数診療枠を設定させていただきますので、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、予定枠を超えた場合は、以下のいずれかの方法にて対応させていただきます。

後日の整形外科予約をお取りして、改めて受診していただきます。

可能な場合、当日は外科医が初期対応をさせて頂き、必要に応じて次の整形外科予約をお取りします。

近隣の整形外科医院をご案内させていただきます。

救急車などの対応は、これらの原則と異なり、できるだけ対応する方針です。

問い合わせ 那須南病院
 ☎0287-84-3911

パソコン講座 受講者募集

場所 山村開発センター会議室
 対象 町内在住または勤務している18歳以上の方

定員 各講座ともに15名

日程

昼の部(午後1時30分～4時30分)

入門講座(2日間) 2回開催
 10月13日・15日または20日・22日
 初級講座(2日間)
 10月27日・29日

夜の部(午後7時～9時)

中級講座(4日間)
 10月13日・15日・20日・22日
 ブログ講座(2日間)
 10月27日・29日

受講料 無料(ただし、テキスト代を負担していただきます)

申込方法 申込書を生涯学習課または馬頭公民館へ提出する。(FAX可)
 その他 講義などの詳細は町ホームページ・チラシでご確認下さい。
 問い合わせ 生涯学習課生涯学習係
 ☎0287-96-2116

ホームページアドレス

<http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp>

なす風土記の丘資料館企画展と オープニングイベント

第17回企画展「那須の横穴墓」
 開催期間 9月19日(土)～11月23日(月)
 開催場所 湯津上館
 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)及び祝日の翌日
 その他 要入館料(中学生以下は無料)
 オープニングイベント「玉づくり」

日時 9月20日(日)
 午前9時30～正午

場所 湯津上館

定員 20名

参加費 100円

問い合わせ

なす風土記の丘資料館小川館

☎0287-96-3366

FAX 0287-96-3340

E-mail info@nasufudoki.com

消防署の火災出動時の 消防車サイレン音が変わります

火災出動時のサイレン吹鳴は「ウーウー」で出動しておりますが、近年、火災以外の出動(交通事故現場、救急支援、警戒、救助等)が多

く発生しております。

今回の変更は、消防団の団員などが「火災」出動か「火災以外」の出動かを判断できるようにするため、また、一般住民に消防活動に対する理解を深めてもらうためであります。

サイレン吹鳴の区分
 火災の出動は「ウーウーカンカン」
 火災以外の出動は「ウーウー」と鳴らして走行します。

実施時期 10月1日より変更
 問い合わせ 南那須地区広域消防本部
 ☎0287-83-2009

水道メーターの交換について

交換時期を迎えるお宅へ、水道メーター交換のために町指定給水工事店が、9月8日～25日の間に交換にお伺いしますので、ご協力をお願いします。

問い合わせ 上下水道課
 ☎0287-92-2002

甲種防火管理者資格取得 講習会の開催

開催日時 10月7日～8日
 午前9時～午後4時40分
 開催場所 那須烏山市保健福祉センター(那須烏山市田野倉85-1) ☎0287-88-7115

申込方法 申込書(押印)に受講料(教材費)を添えて申し込む。申込書は申し込み先の各窓口にて用意、またはホームページからもダウンロードできます。

(<http://minaminasu.mydns.to/syoubou/>)
 受付期間 9月14日～25日(但し、定員になり次第締め切ります)

予定人員 80名
 受講料(教材費) 4,000円
 申し込み後の返金は応じません

問い合わせ・申し込み先
 南那須地区広域消防本部
 ☎0287-82-2009

烏山消防署 ☎0287-82-2009
 馬頭分署 ☎0287-92-2800
 小川分署 ☎0287-96-2188
 南那須分署 ☎0287-88-2190

要援護者実態調査の実施について

災害時等に援護を必要とする方を把握し、台帳整備することにより地域における具体的な支援を図り、「安心して住める地域」づくりを目指すために要援護者実態調査を実施します。

実施方法 那珂川町社会福祉協議会職員（調査員証を携帯）による訪問調査

調査対象者 独居高齢者及び75歳以上の高齢者世帯

調査期間 平成22年3月31日まで

問い合わせ

健康福祉課 ☎0287 - 92 - 1119

社会福祉協議会 ☎0287 - 92 - 2226

那珂川経友会創立35周年記念講演会の開催

日時 10月30日(金)午後2時～4時
場所 馬頭総合福祉センター集會室
演題 「出会いを生かせば道は開ける」
講師 中村文明氏（クロフネカンパニー代表取締役）

主催 那珂川経友会 足利銀行馬頭支店

後援 那珂川町 馬頭商工会 小川商工会

参加人員 約250名

その他 入場無料です、お気軽にお越し下さい。

問い合わせ 足利銀行馬頭支店（那珂川経友会事務局）☎0287 - 92 - 2611

下水道排水設備工事責任技術者試験の実施

日時 11月13日(金)午後2時～4時
場所 栃木県河内庁舎

（宇都宮市竹林町1032-2）

申込用紙の配布場所

（財）栃木県建設総合技術センター及び那珂川町上下水道課

受付期間 10月1日～15日 消印有効

その他 受験資格については、申込用紙をご覧ください。試験講習は実施しませんのでご承知下さい。

問い合わせ・申し込み先

（財）栃木県建設総合技術センター

〒321-0974 宇都宮市竹林町1030-2

☎028 - 626 - 3187 研修課 菊池

La Festa Mille Miglia 2009 ～クラシック・カー・パレード～

約80台のクラシックカーが爽やかな風と共に馬頭広重美術館前を駆け抜けます。沿道の皆様のご声援をお願いいたします。

日時 10月12日（月・祝）

午後0時15分～1時15分

コース 茨城県大子町 谷川・盛泉（国道461号）健武・馬頭（主要地方道矢板那珂川線）久那瀬・松野（主要地方道那須黒羽茂木線）那須烏山市

問い合わせ 商工観光課 観光係

☎0287 - 92 - 1116

「とちぎのふるさと田園風景百選」の募集

本県の誇れる“ふるさと田園風景”を百年後にも継承し、「活力に満ちたふるさととちぎづくり」を進めていくため、下記のとおり募集します。対象風景 栃木県内において、自然環境と一体となった農業生産・農村生活及び、これに関連する伝統文化等に係る風景で、美しい風情や歴史性、郷愁や地域の活性を醸し出すなど、百年後にも誇れる継承すべきふるさととの風景とする。

応募条件 個人、集落、各種団体、企業、市町、いずれの応募も可とする。応募方法 当該風景の存する市町担当部課に次の資料を提出する。

応募書...氏名、連絡先、対象風景の地域名（タイトル名）を明記し、地域情報（農業や伝統・風情等に纏わる取組、風景の活用方法等）を添えて申し込む。

写真...対象とする風景や地域の創意溢れる取組の様子がわかるもの。

三万五千元
関東フーズ・益子建築合同コンベック
二万円 匿名
小川体育館へ
卓球台 一台
南那須卓球連盟 小森敏彦様
鈴木チノ様（さくら市）
一万六千六百五十円
社会福祉協議会事業へ
八千円 匿名（419回）
四万円 益子和弘様（健武）
社会福祉協議会善意銀行へ
社会福祉協議会福祉金庫へ

また、季節や伝統行事・協働活動等の多様性を考慮し「組み写真」も可。

応募期限 平成22年8月末日

申込先 那珂川町内の風景については、農林振興課（☎0287 - 92 - 1113）へ
問い合わせ 栃木県農政部農村振興課 ☎028 - 623 - 2338

9月11日は 「警察相談の日」です

警察では犯罪等による被害の未然防止に関する相談、その他県民の安全と平穏について相談に応じるため、各種相談窓口を設けています。

那珂川警察署 ☎0287 - 92 - 0110
警察本部

警察相談電話 ☎028 - 627 - 9110
#9110（プッシュ回線・携帯電話）

悪質商法相談 ☎028 - 624 - 1110

ヤングテレホン ☎0120 - 87 - 4152

シルバー110番 ☎028 - 627 - 4680

性犯罪被害者相談 ☎0120 - 710 - 873

覚せい剤110番 ☎028 - 624 - 0919

暴力相談 ☎028 - 622 - 2424

緊急の事件・事故以外の相談については、110番ではなく#9110番を利用して下さい。

『レジ袋無料配布の中止』に関する協定に参加する事業者を募集します

栃木県では、ごみ減量化・地球温暖化防止のため、「レジ袋の無料配布の中止」を実施することを主な内容とした協定に参加する事業者を募集しています。募集期間は、11月6日までです。多くの事業者の参加をお待ちしています。

問い合わせ 栃木県地球温暖化対策課

☎028 - 623 - 3187

寄贈



ありがとうございます
ございます



たのしい絵本と紙しばいの会

- ・ 9月17日(木) 午前10:30～
- ・ 10月1日(木) 午前10:30～
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室
小さいお子さまのためのおはなし会です。
親子で一緒にお越しください。

婦人ボランティアのおはなし会

- ・ 10月10日(土) 午後2:00～
- ・ 場所 馬頭図書館 児童室
- ・ 10月11日(日) 午前10:30～
- ・ 場所 小川公民館 2階
おはなし上手なボランティアさんが昔ばなしの絵本や紙しばいを読んでもくれます。

読書会

- ・ 10月14日(水) 午後1:30～
- ・ 場所 馬頭図書館 視聴覚室
テキスト「08ベストエッセイ 美女という災難」
和やかな雰囲気です。興味のある方はお気軽にどうぞ。

馬頭図書館・小川図書館の休館日 (9/16～10/15)

共通：9月21日(月)、22日(火)、23日(水)、30日(水)
10月12日(月)

馬頭図書館休館日

9月28日(月)
10月5日(月)、13日(火)

小川図書館休館日

9月18日(金)、25日(金)
10月2日(金)、9日(金)



今月の表紙

ネイチャークラブ

シャワーウオーキング

8月17日、那須塩原市板室の那珂川でシャワーウオーキングが行われました。

町内の小学3～6年生24名が冷たい水の中、那珂川上流の滝を目指して歩きました。途中岩から飛び込みをしたり、流れに乗って泳いでみたりと夏の那珂川を満喫していました。

なかよしひろば&すくすくクラブ

- ・ 9月18日(金) 午前10:00～
おもちゃをつくろう。
- ・ 参加申し込み 9月16日(水)まで
- ・ 参加費 無料

敬老の日のプレゼントづくり

- ・ 9月19日(土) 午後1:30～
- ・ 9月21日(月)は敬老の日です。
おじいちゃんやおばあちゃんに心をこめてプレゼントを作りましょう。
- ・ 参加申し込み
9月16日(水)まで
- ・ 材料費 50円



映画会

- ・ 9月26日(土)
午前9:30～
- ・ 内容 「崖の上のポニョ」
みんなで見に来てね。

生け花教室

- ・ 9月26日(土) 午後1:30～
秋のお花を生けましょう。
- ・ 会員以外の方の申し込み 9月19日(土)まで
- ・ 花代 700円

なかよしひろば

- ・ 10月8日(木) 午前10:00～
運動会ごっこをしよう。
- ・ 参加申し込み 10月6日(火)まで
- ・ 参加費 50円(おやつ代)

チャレラン大会

- ・ 10月11日(日) 午前9:30～
楽しい遊びの記録に挑戦!
お友だちを誘って遊びに来てください。
- ・ 参加申し込み 10月9日(金)まで
- ・ 参加費 無料

「児童館」 9月16日～10月15日 のお休み

開館時間 午前9時～午後5時

☎ 0287-96-3109

日	月	火	水	木	金	土
			9/16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	10/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15		

那須の英雄与一と神田城

最近、戦国時代の武将や、それに関わる城跡が人気となり、歴史ブームが起こっています。今回は、那珂川町に深い縁のある人物と、その城跡を紹介したいと思います。那須地域は豪族・那須氏と深い関係にあります。そのなかで、日本中で名前の知られている人物といえば、平安時代末に登場する那須与一が上げられます。



屋久島の合戦で扇を射る那須余一

その土塁も上の部分は二m前後の幅がありま

その土塁も上の部分は二m前後の幅がありま。また、郭内は東西六六m、南北が約一一七mで、その面積は約七二五㎡になります。堀を含んだ面積はさらに広大で、二・五haに及びます。

南側の土塁の中央には、正門跡が確認されていて、南北には水濠が残っています。

神田城が造られた三輪地区は、古代那須郡の三和郷にあたります。古墳時代から古代末にかけて、古墳や延喜式内社である三和神社が作られ、東山道が通過していることから、古代那須の中心であったことがうかがえます。

那須与一や神田城についての確かな史料が少ないため、生没年など謎に包まれた部分が多くあります。それがかえって人を惹きつけます。ぜひ当時は偲んで、足を運んでみてはどうでしょうか。

(なす風土記の丘資料館 学芸員 菊池悠子)



国指定史跡 那須神田城

うぶいえ

郡司	奈良	屋代	川味	和泉	河西	戸部	高山	高野	熊田	薄井	益子	吉成	(氏名)(父母の名)(住所)
夏姫	陸人	心媛	恵輔	颯太	蒼羅	旬	実瑚	蕾蔵	奈緒	瑞季	結愛	咲衣	
千恵	卓也	麻美	智幸	光子	智章	朱里	智行	直美	嘉紀	杏菜	悠補	真由美	
白久	谷田	谷田	小川	小川	大内	盛泉	由香里	久那瀬	久那瀬	健武	健武	馬頭	

おくやみ

(氏名)	(年齢)	(住所)
白井 誠一	(81)	馬頭
網野 イシ	(95)	馬頭
西山 政典	(85)	馬頭
和知 勝利	(65)	馬頭
滑川 渡	(80)	馬頭
和田 キサ	(94)	馬頭
田澤 虎男	(80)	健武
小高 文子	(86)	和見
和知 テル	(88)	北向田
露久保 泰子	(76)	久那瀬
佐藤 ゆき子	(83)	大内
岡 頼子	(79)	大内
岡 茂	(59)	大内
加藤 力男	(82)	大山上郷
橋本 ナツ	(98)	小川
杉本 知恵子	(73)	東戸田

掲載は希望者のみです。
7月21日、8月20日 受付分 敬称略

9月1日現在の人口

(住民基本台帳)

男	9,747人 (-2)
女	9,735人 (-8)
計	19,482人 (-10)
世帯数	6,085 (+10)

() 内は前月との比較

— 秋季特別展 —



第48回

江戸のMODE

浮世絵美人の総合ファッションガイド

— ゴッホに愛された日本の女性 —

豪華な着物を身に纏い、髪を大きく結った花魁。頭には笄と呼ばれる棒を横に差し、前方に櫛を二つ、そして前方、後方、正面あわせて15本もの簪をさしています。髪飾りはすべて高価な籠甲製。襦袢の背には暗黒の空にとぐろを巻くような雲と吠えるような龍が描かれ、その大胆でゴージャスな模様を見せつけるように振り返るポーズをとっています。

「雲龍襦袢の花魁」は、絵師溪斎英泉（1791-1848）が19世紀前半に作成した浮世絵です。この絵は、1886年5月にフランスで発行された「パリ・イリュストレ」というジャーナルの日本特集号の表紙を飾りました。当時ヨーロッパではジャポニスムがブームになっており、この特集号では日本の文化や歴史に関する記事が取り上げられ、英泉、北斎、歌麿の作品を含む多くの版画が掲載されました。

オランダの画家、ヴィンセント・ファン・ゴッホは表紙の花魁の絵に感銘を受け、1887年にこの絵を模写して「花魁」という油絵作品を制作します。透ける紙を使って鉛筆で丁寧にトレースし、二倍に拡大してキャンバスに写し取ったといわれますが、ジャーナルの表紙では図が反転して掲載されていたため、ゴッホの絵も実際の浮世絵とは左右の向きが逆になっています。「花魁」には、女性を囲むように蓮の浮かぶ池の風景が描かれ、その池では蛙や鶴が遊んでいます。ゴッホは明るい色調の浮世絵の世界に強いあこがれを抱いていたといわれますが、鮮やかな色彩のその絵は、ゴッホの理想郷であったに違いありません。

ゴッホはこの花魁をよほど気に入っていたらしく、同年に作成した画材商の「タンギー爺さん」の肖像画の背景にもこの女性を描いています。

今月18日より始まる「江戸のMODE—浮世絵美人の総合ファッションガイド—」では、「雲龍襦袢の花魁」をはじめとする浮世絵美人画を展示し、鎖国体制のもと独特のスタイルを築きあげた江戸時代の女性のファッションを概観していきます。

馬頭広重美術館
学芸員 長井裕子



「雲龍襦袢の花魁」
溪斎英泉
千葉市美術館蔵

【会 期】

前期 9月18日(金) ~10月18日(日)
後期 10月23日(金) ~11月23日(月祝)

【記念講演会】

前期 9月27日(日) 午後1時30分～
演題：「江戸のファッションリーダーたち」
講師：当館学芸員 長井裕子
後期 11月1日(日) 午後1時30分～
演題：「浮世絵美人画に見る流行の風俗」
講師：千葉市美術館学芸員 田辺昌子氏

【ミュージアムトーク（展示解説）】

前期 9月19日(土) 後期 10月24日(土)
当館学芸員 午後1時30分～

【休 館 日】 9月24日、28日、10月5日、13日、19日～22日（展示替）

広報紙に広告を掲載しませんか？

掲載位置：各ページの下一段
サイズ：縦50mm×横88mm
料 金：2色刷 1回 5,000円～
カラー刷（裏表紙のみ）1回10,000円～
※複数月連続掲載の場合は割引あり
申込期限：掲載希望する月の初日の40日前
※9月24日までに申し込まれた場合、11月号から掲載可
※詳しくは企画財政課広報広聴係 ☎0287-92-1114
までお問い合わせください。

那須ナンバー開設記念月間
10月10日(土)～10月31日(土)
那珂川町にお住まいの方は、上記の期間
入国無料!
本人だけが1人で世界の分かる身分証明書をご用意下さい。
那須どうぶつ王国
TEL 0287-77-1110 平日10:00～16:30
那珂川町那須町大馬1042-1 土曜10:00～17:00
http://www.nasudobutsukuni.com/ 定休日：休館日（連休を除く）